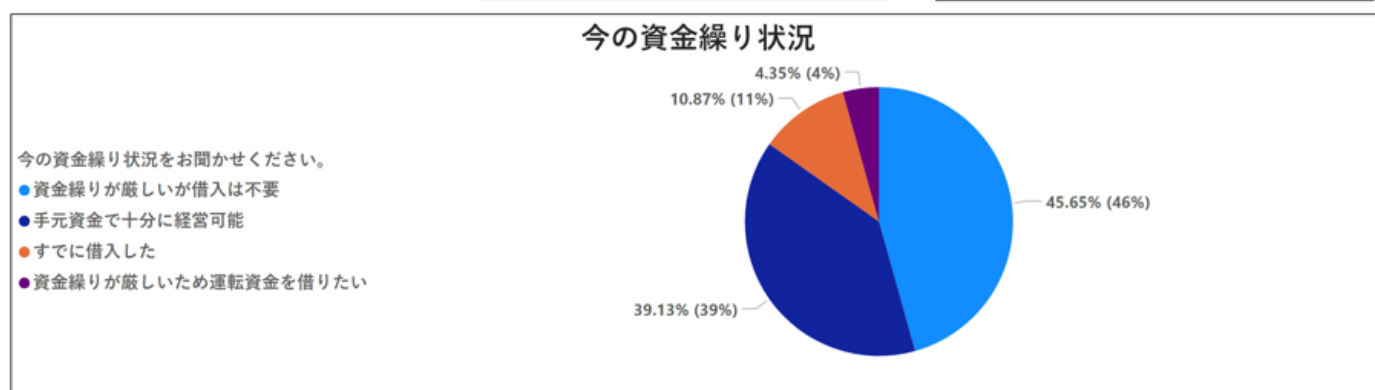
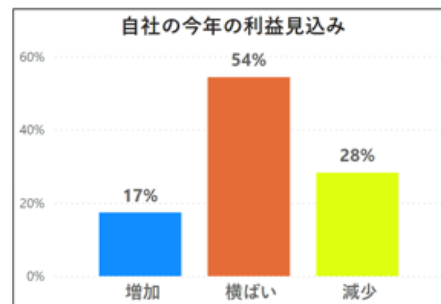
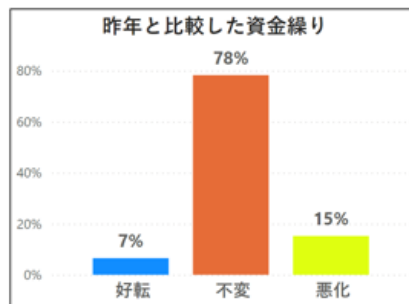
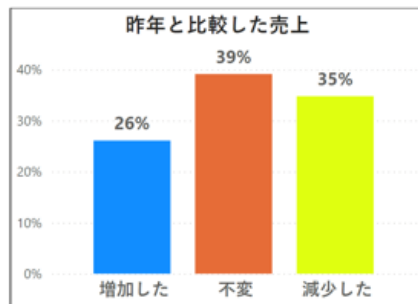


令和 7 年度 第1四半期の調査結果概要 函南町商工会

令和7年 4 月～6月期 回答 46社

全体概要（売上・資金繰り・利益見込み）



■ 昨年の同期と比較した売上について

不変:18 件

減少した:16 件

増加した:12 件

➡ 「不変」が最多であるが、「減少した」も多く、売上の停滞や減少傾向が見られる。

■ 昨年の同期と比較した 資金繰りについて

不変:36 件

悪化:7 件

好転:3 件

➡ 資金繰りは「不変」が圧倒的多数だが、「悪化」も一定数存在し、資金面の不安が一部で見られる。

■ 自社の今期の利益見込みについて

横ばい:25 件

減少:13 件

増加:8 件

➡ 利益も「横ばい」が中心であるが、「減少」が「増加」の約 1.6 倍あり、厳しい見通しの事業者が多い。

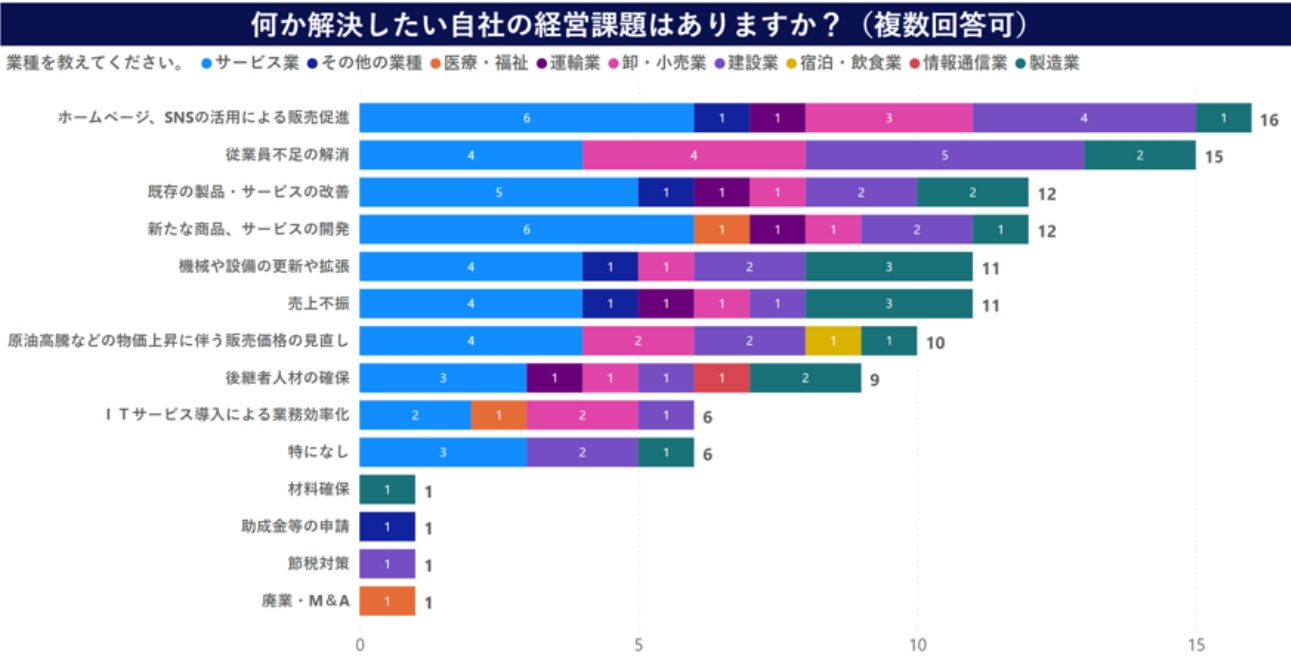
■資金繰りについて

利益見込み × 資金繰り状況(件数)

利益見込み	手元資金で十分	資金繰り厳しいが借入不要	すでに借入した	借入希望
増加	2 件	4 件	1 件	1 件
横ばい	11 件	10 件	3 件	1 件
減少	5 件	7 件	1 件	

現状の資金繰り状況は手元資金で十分経営可能と約40%が回答した。全体の28%が利益減少と回答したが、そのうち借入を希望する、すでに借入したは1件であった。

全体概要（自社の経営課題）



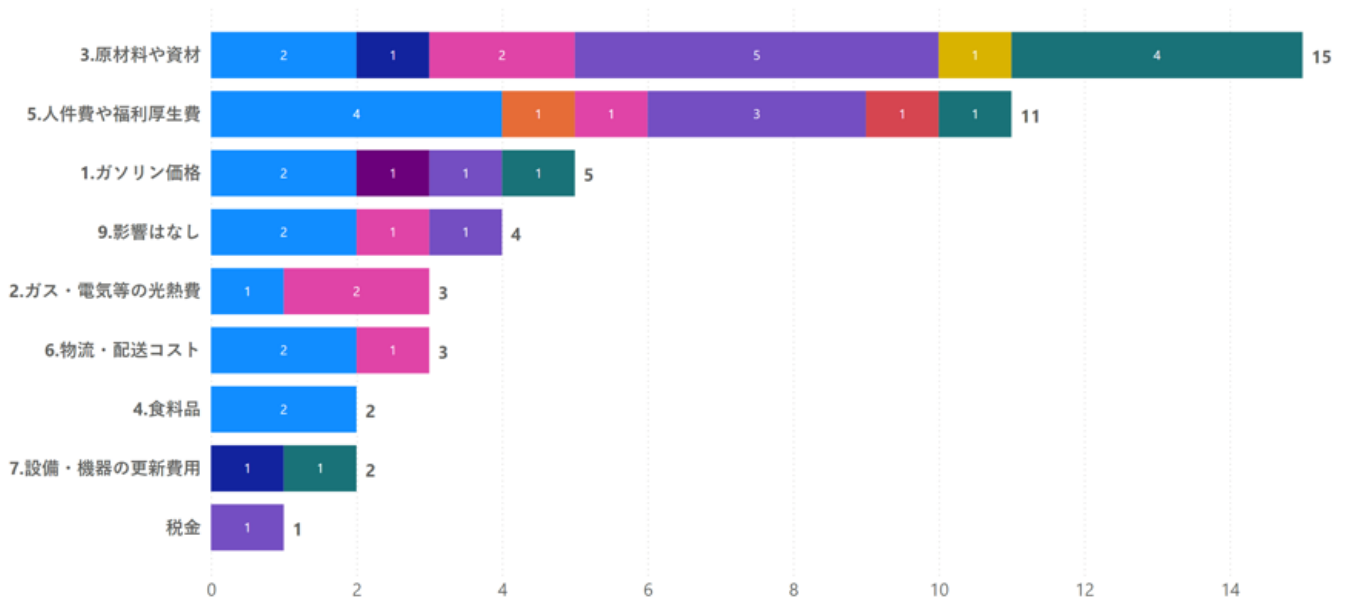
■ 経営課題分析(主なもの)

- ホームページ、SNS の活用による販売促進:16 件
- 従業員不足の解消:15 件
- 新たな商品、サービスの開発:12 件
- 既存の製品・サービスの改善:12 件
- 機械や設備の更新や拡張:11 件
- 売上不振:11 件
- 原油高騰などの物価上昇に伴う販売価格の見直し:10 件

物価高騰で最も影響が大きい要因

最近の物価上昇による影響でもっとも貴社に影響が大きなものを一つ選んでください。

業種を教えてください。 ● サービス業 ● その他の業種 ● 医療・福祉 ● 運輸業 ● 卸・小売業 ● 建設業 ● 宿泊・飲食業 ● 情報通信業 ● 製造業



■ 物価高騰による影響(主なもの)

原材料や資材(15 件)

最も多くの事業者が影響を受けている項目であり、特に製造業・建設業などでコスト増が顕著
仕入れ価格の上昇が利益圧迫や価格転嫁の課題につながっている可能性がある。

人件費や福利厚生費(11 件)

サービス業を中心に人件費の上昇が経営に影響
労働力不足や賃上げ圧力が背景にあると考えられる。

ガソリン価格(5 件)

運輸業や建設業など、移動や機械稼働が多い業種で影響が大きい。